

「最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出額10ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2019.10.17

2019年8月の機械輸出額は3兆8,847億円、対前年同月比9.4%減と、10ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①6地域向けすべてで前年同月比減少したこと、②21業種中17業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が10.9%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は1.7%増となった。2019年9月の為替・営業日要因は2.8%の増加寄与要因となっているが、10月7日発表の貿易統計速報によれば9月上中旬の全商品輸出は2.7%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆1,412億円(前年同月比 [以下同じ] 8.2%減、9ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆2,848億円(11.9%減、4ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:1,435億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆8,847億円(9.4%減、10ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:1.7%増(3ヶ月ぶり増加)
- ② 機械輸入額:1兆9,283億円(8.3%減、再び減少)

(2) 為替・営業日動向

2019年8月に10.9%の減少要因、9月に2.8%の増加要因、10月に6.9%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 6地域向けすべてで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:6.6%減、6ヶ月ぶり減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:14.6%減、6ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:10.2%減、8ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:4.3%減、2ヶ月ぶり減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:9.3%減、19ヶ月連続減少(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:8.5%減、2ヶ月ぶり減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中4業種が増加。そのうち農業機械が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 農業機械(米国向け中心)が大きく増加
- ② 鉄道車両、携帯電話等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、3機種が増加
- ② そのうち2機種が二桁の増加

II トピックス

1. 【中国】レノボが業績を回復。米中貿易紛争がリスクに

中国の最大手PCメーカー・レノボの2019年第2四半期（4-6月期）における売上高は前年同期比5%増の125億1,200万ドル、純利益は約2倍の1億6,200万ドルと好調だった。

部門別では、「パソコン」部門の売上は前年同期比11.7%増の96億ドルに達した。同社のPCの世界市場でのシェアは24.9%となり、米国HPを抜き一位に返り咲いた。今後は、成長が期待されるスマートディスプレイ、スマートカメラなどにも注力する。また、来年発売予定の折り畳み式PCも注目される。スマホなどの「モバイル」部門の売上はやや減少したが、構造改革が進み利益率が改善した。特に北米、南米でのスマホ販売が好調だった。「データセンター」部門も赤字幅がやや縮小した。

レノボは今後、米中貿易紛争の影響を受ける可能性がある。同社は、中国から他地域への生産移転を検討している。他の中国企業も生産移管を加速させている。2018年6月以降、約30社が海外移転や海外拠点への追加投資を表明した。TCL集団はメキシコ、ベトナムでテレビを増産、電子部品の国光電機はベトナムでの生産を決定している。

2. 【台湾】TSMCの業績が低迷。下半期は回復の予想

半導体生産の世界最大手・台湾積体回路製造（TSMC）の2019年第2四半期（4-6月期）における営業利益は、前年同期比10%減の763億台湾（NT）ドルと低迷した（4四半期連続の減益）。スマートフォンの販売低迷などが要因となった。売上高は3%増の2,410億NTドルとなった。

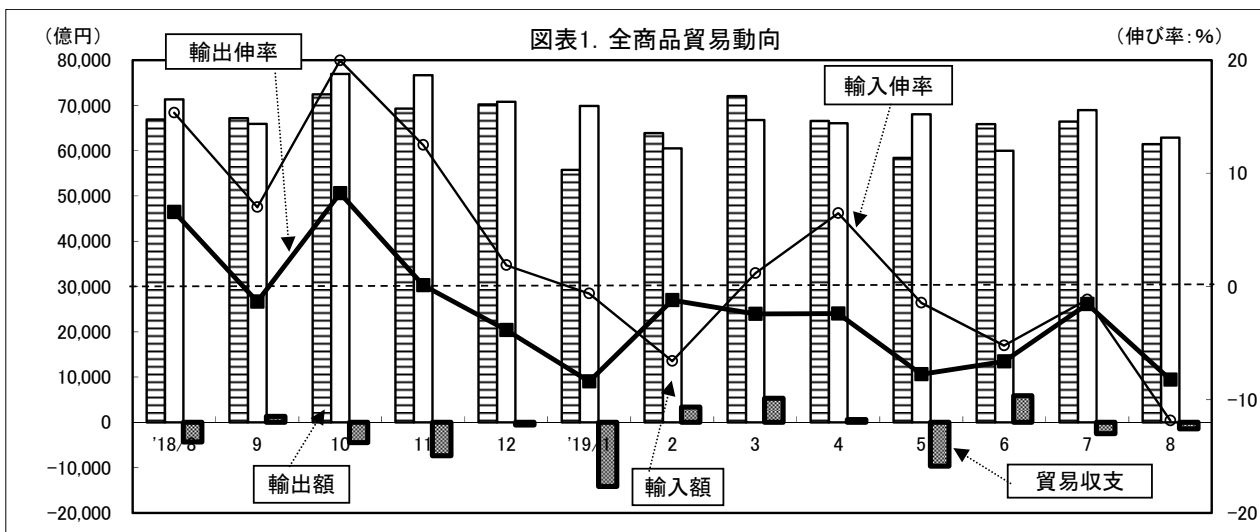
一方、下半期には、高価格帯スマホ、サーバー、IoTなどの需要が伸びると予想されることから、第3四半期の売上高は前年同期比7%程度増加する見通し。同社の8月の売上高は、前年同期比16.5%増の1,061億NTドルと好調だった。同社の半導体受託生産における市場シェアは50%を超えており、その業績は業界の先行指標となる（市場シェア2位のサムスン18.5%）。

TSMCはAI・5G向け半導体需要の開拓に向け、従来の計画より上乗せして投資を行う（台湾のメディテックも5G向け投資を増加させると表明）。また、先端技術開発の手も緩めない。同社は4月に5ナノ品の試験生産を開始、さらに年末には台湾新竹で3ナノ品生産の新工場建設に着手する。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は9ヶ月連続で減少、輸入も4ヶ月連続減少～

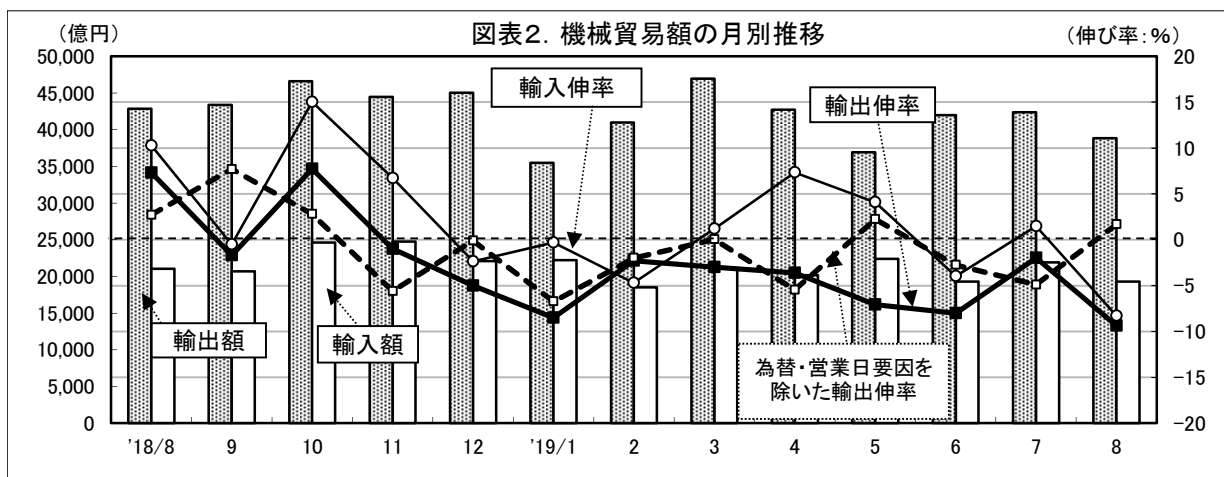
- 1) 2019年8月の全商品輸出額は**6兆1,412億円**、前年同月比(以下同) **8.2%減**と9ヶ月連続で減少した(7月1.5%減)。これは、約22%を占める輸送用機器(8.2%減)をはじめ、約19%を占める一般機械(12.3%減)、約18%の電気機器(8.1%減)、約12%のプラスチック等化学製品(5.1%減)等が減少したためである。
- 2) 輸入額は**6兆2,848億円**、**11.9%減**と4ヶ月連続で減少した(7月1.2%減)。これは、全輸入額の約22%を占める原油等鉱物性燃料(25.3%減)をはじめ、約14%を占める電気機器(8.8%減)、約10%の医薬品等化学製品(4.2%減)、約9%の一般機械(14.8%増)等が減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約1,435億円と2ヶ月連続で赤字(7月は2,507億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は10ヶ月連続減少、輸入は再び減少～

- 1) 全商品輸出額の約63%を占める8月の機械輸出額は**3兆8,847億円**、**9.4%減**と10ヶ月連続で減少し(7月2.0%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年8月)と比べると**86.2%**となって、前月に比べて2.0ポイント改善した(7月84.2%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**1.7%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**1兆9,283億円**、**8.3%減**と再び減少し(7月1.5%増)、リーマンショック前(2008年8月)の水準に比べ、24.5%増となっている。

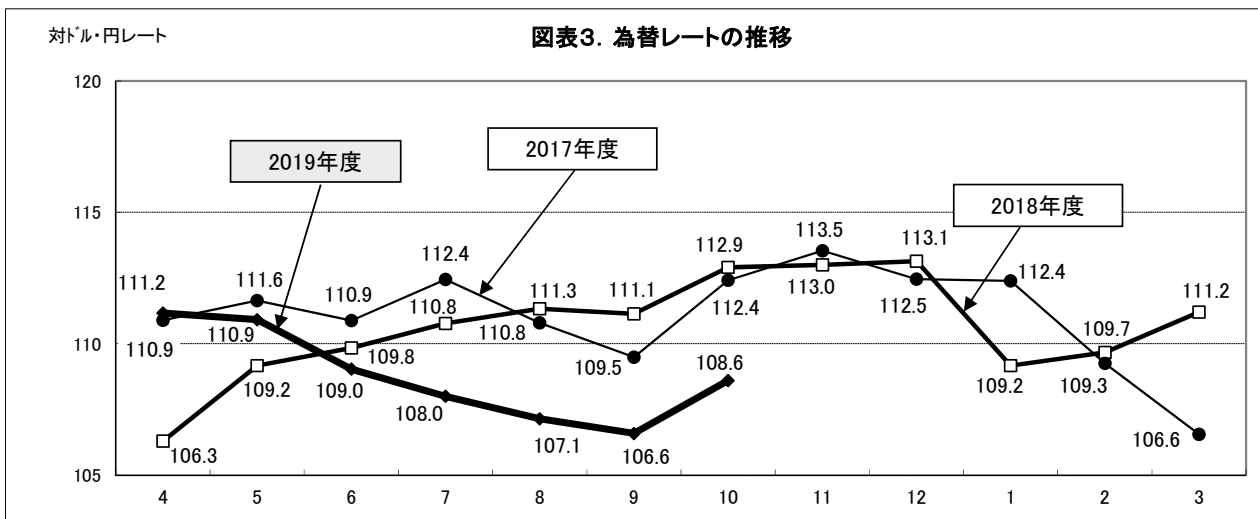


(2) 為替・営業日動向～8月は10.9%の減少要因、9月は2.8%の増加要因～

1) 2019年8月は1ドル＝107.1円となり、前年に比べ3.8%の円高となった。また、対ユーロは119.5円と前年に対して7.5%の円高となり、合わせて約2.4%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して2日少ないため、約8.7%の減少要因となり、合計で約10.9%の減少要因となる。8月の輸出額は9.4%減であったことから、実質的伸び率は1.7%増と3ヶ月ぶりの前年同月比増加となった(7月4.9%減)。

2) 2019年9月は1ドル＝106.6円で前年比4.1の円高、対ユーロは117.8円で前年比8.6%の円高となり、合わせて約2.6%の為替減少要因となった。営業日は前年に対して1日多いため、約5.6%の増加要因となり、合計で約2.8%の増加要因となる。

3) 2019年10月は、対ドルが10月15日17:00時点の108.6円とすれば、3.8%の円高、また、対ユーロは119.9円で8.4%の円高となり、合わせて約2.5%の為替減少要因となる。営業日は前年に対して1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約6.9%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～6地域向けすべてで前年同月比減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.4%を占める北米向けでは、産業機械(6.0%増)、航空機部品(4.7%増)等が増加したものの、約46%を占める自動車(12.9%減)、電気・電子計測器等軽電気機械(13.5%減)等が減少し、6.6%減となった。②22.6%を占める中国向けでは、産業機械(21.5%減)、電子デバイス(1.9%減)、自動車(16.2%減)、軽電気機械(3.7%減)等が減少して14.6%減となり、③15.0%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(18.3%減)、マレーシア(16.3%減)、パキスタン(57.6%減)等タイ向けを除く主要国向けが赤字となり、業種でも、産業機械(4.2%減)、自動車(13.9%減)、電子デバイス(4.0%減)等が減少して10.2%減となった。④12.3%を占めるEU向けは、約39%を占める自動車(4.4%増)向けが増加したものの、産業機械(15.7%減)、軽機械(2.8%減)、建設機械(15.1%減)等が減少して4.3%減となり、⑤9.7%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(3.1%増)が増加したものの、産業機械(18.9%減)、自動車(4.3%減)、重電気機械(13.1%減)等が減少して9.3%減となった。⑥16.0%のその他地域向けでは、ロシア東欧等(12.9%減)、大洋州(11.3%減)向け等が減少し、業種でも、船舶(6.2%増)が増加したものの、自動車(7.1%減)、産業機械(20.8%減)等が減少して8.5%減となった。

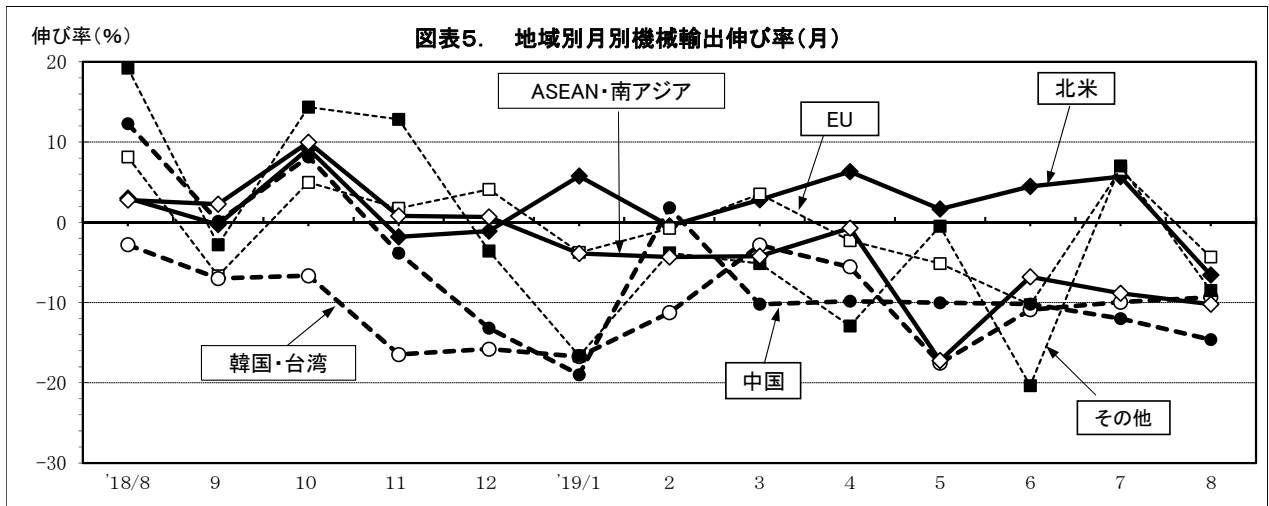
2) また、リーマンショック前の2008年8月の地域別輸出額と比較すると、北米、ASEAN・南アジア向けが100%台、中国向けが90%台、韓国・台湾向けが80%台、EU、その他地域向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2019/6			2019/7			2019/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	41,993	▲ 8.0	100.0	42,373	▲ 2.0	100.0	38,847	▲ 9.4	100.0	0.86
北米	11,169	4.5	26.6	10,951	5.7	25.8	9,486	▲ 6.6	24.4	1.03
中国	9,313	▲ 10.2	22.2	8,987	▲ 12.0	21.2	8,775	▲ 14.6	22.6	0.99
ASEAN・南アジア	6,374	▲ 6.8	15.2	6,104	▲ 8.9	14.4	5,840	▲ 10.2	15.0	1.00
EU	5,187	▲ 10.3	12.4	5,383	6.5	12.7	4,764	▲ 4.3	12.3	0.67
韓国・台湾	3,903	▲ 10.9	9.3	3,827	▲ 10.0	9.0	3,763	▲ 9.3	9.7	0.84
その他	6,048	▲ 20.4	14.4	7,121	7.0	16.8	6,220	▲ 8.5	16.0	0.65

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

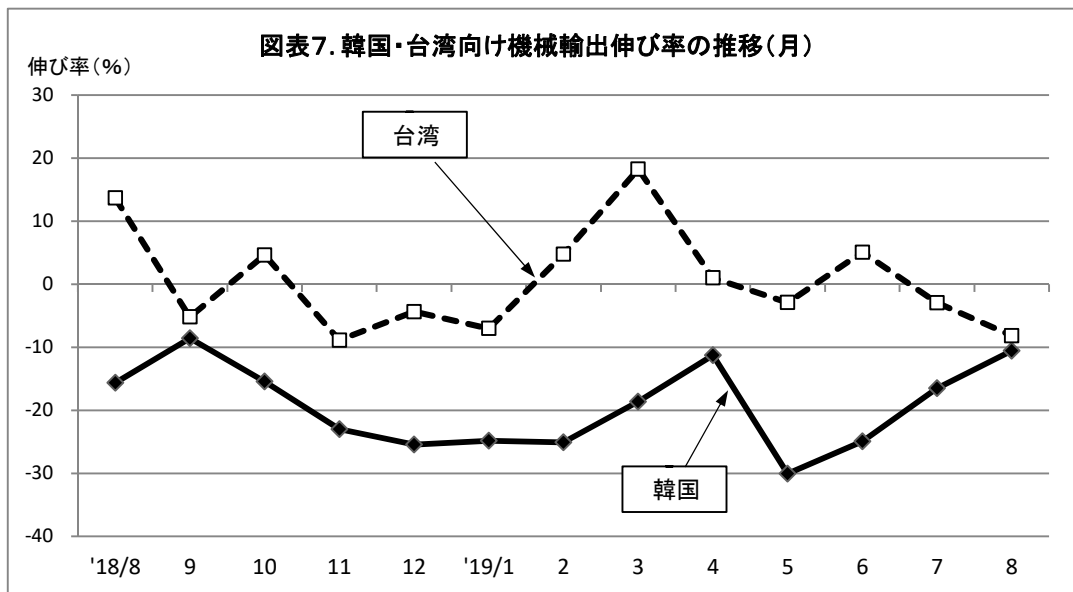


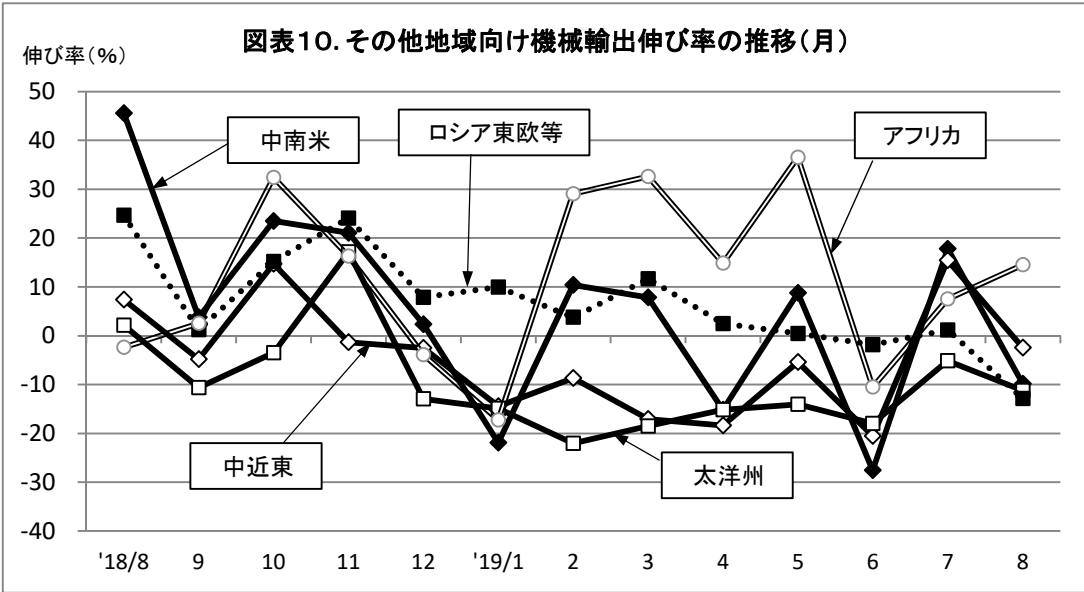
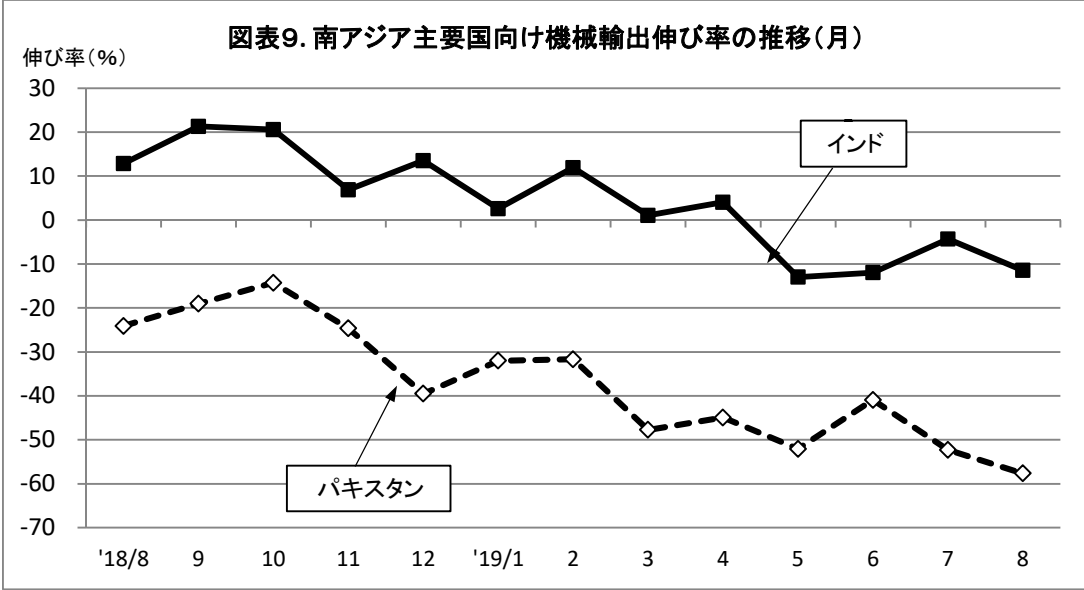
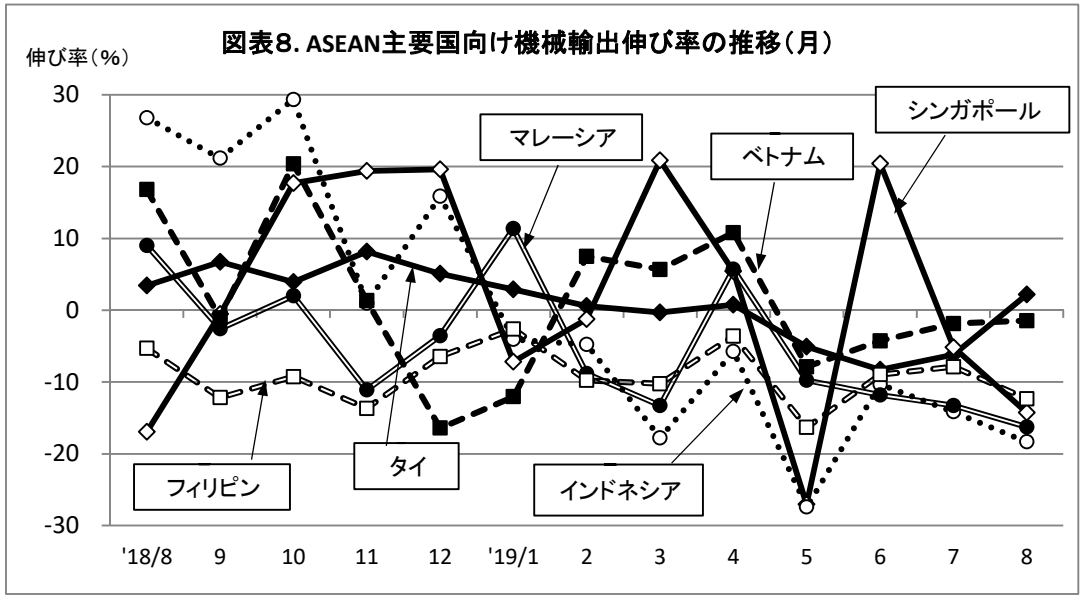
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2019/5		2019/6		2019/7		2019/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,544	▲ 30.0	1,753	▲ 24.9	1,837	▲ 16.5	1,814	▲ 10.5
台湾	1,830	▲ 2.9	2,150	5.1	1,990	▲ 2.9	1,948	▲ 8.2
ASEAN・南アジア								
タイ	1,406	▲ 5.1	1,636	▲ 8.3	1,559	▲ 6.2	1,623	2.2
シンガポール	732	▲ 27.0	1,086	20.4	837	▲ 5.2	817	▲ 14.2
インドネシア	498	▲ 27.4	858	▲ 10.3	842	▲ 14.1	749	▲ 18.3
マレーシア	571	▲ 9.7	630	▲ 11.8	646	▲ 13.3	584	▲ 16.3
フィリピン	547	▲ 16.3	626	▲ 9.0	637	▲ 7.9	548	▲ 12.3
ベトナム	653	▲ 7.9	745	▲ 4.3	779	▲ 1.9	833	▲ 1.4
インド	416	▲ 13.0	539	▲ 12.0	549	▲ 4.4	468	▲ 11.4
パキスタン	82	▲ 52.1	94	▲ 40.9	70	▲ 52.3	55	▲ 57.6
その他地域								
中南米	2,010	8.7	1,809	▲ 27.6	2,456	17.8	2,131	▲ 9.8
中近東	1,300	▲ 5.4	1,402	▲ 20.6	1,626	15.4	1,465	▲ 2.4
大洋州	1,015	▲ 14.0	1,130	▲ 18.0	1,303	▲ 5.1	1,069	▲ 11.3
ロシア東欧等	1,017	0.5	1,184	▲ 1.8	1,214	1.2	1,009	▲ 12.9
アフリカ	664	36.5	622	▲ 10.5	636	7.5	603	14.5

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中自動車、船舶をはじめ4業種が増加。～

- 1)業種別では、船舶(5.7%増)、航空機部品(3.7%増)、医療機械(4.9%増)、農業機械(16.3%増)の4業種が増加し、前月に比べて1業種減少した。そのうち、農業機械のみが二桁の伸びとなり、機械全体では9.4%の減少となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、繊維機械、軽機械、ベアリング、陸用内燃機関、農業機械の7業種となった(7月は4業種)。他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2019/6			2019/7			2019/8			対08/8 比			
業種名	金額	伸び率 シェア	業種名	金額	伸び率 シェア	業種名	金額	伸び率 シェア				
自動車	14,732	▲ 5.3	35.1	自動車	15,336	▲ 3.1	36.2	自動車	12,708	▲ 9.4	32.7	0.87
産業機械	7,730	▲ 7.6	18.4	産業機械	7,266	▲ 8.9	17.1	産業機械	7,078	▲ 13.2	18.2	0.95
電子デバイス	3,266	▲ 8.0	7.8	電子デバイス	3,356	▲ 7.5	7.9	電子デバイス	3,556	▲ 2.4	9.2	0.82
軽電気機械	2,366	▲ 8.7	5.6	軽電気機械	2,464	▲ 1.7	5.8	軽電気機械	2,337	▲ 5.2	6.0	0.95
重電気機械	2,084	▲ 9.4	5.0	重電気機械	2,076	▲ 8.7	4.9	重電気機械	1,986	▲ 12.4	5.1	0.97
軽機械	1,735	▲ 5.2	4.1	船舶	1,741	60.5	4.1	軽機械	1,587	▲ 6.3	4.1	1.21
民生用電子機械	1,407	▲ 7.2	3.4	軽機械	1,707	▲ 2.0	4.0	船舶	1,519	5.7	3.9	0.97
船舶	1,354	▲ 26.4	3.2	民生用電子機械	1,425	▲ 6.0	3.4	民生用電子機械	1,370	▲ 9.5	3.5	0.42
建設機械	1,339	▲ 4.4	3.2	建設機械	1,267	2.4	3.0	光学機械	1,216	▲ 10.9	3.1	0.91
光学機械	1,116	▲ 10.2	2.7	光学機械	1,098	▲ 9.8	2.6	建設機械	1,035	▲ 15.3	2.7	0.73
航空機部品	724	2.0	1.7	航空機部品	758	13.2	1.8	航空機部品	691	3.7	1.8	1.91
工作機械	698	▲ 25.5	1.7	工作機械	698	▲ 18.1	1.6	工作機械	653	▲ 15.8	1.7	0.86
医療機械	517	▲ 2.3	1.2	医療機械	448	▲ 6.9	1.1	医療機械	478	4.9	1.2	1.25
通信機械	474	▲ 4.9	1.1	通信機械	442	▲ 18.3	1.0	通信機械	456	▲ 22.3	1.2	0.54
陸用内燃機関	456	▲ 4.3	1.1	ベアリング	423	▲ 1.6	1.0	陸用内燃機関	376	▲ 13.0	1.0	1.02
ベアリング	406	▲ 8.8	1.0	陸用内燃機関	407	▲ 3.4	1.0	電子計算機	375	▲ 13.3	1.0	0.37
電子計算機	379	▲ 13.1	0.9	電子計算機	365	▲ 19.8	0.9	ベアリング	362	▲ 9.6	0.9	1.03
農業機械	216	▲ 3.3	0.5	農業機械	195	9.5	0.5	繊維機械	198	▲ 4.5	0.5	1.22
繊維機械	196	1.6	0.5	繊維機械	167	▲ 12.5	0.4	農業機械	190	16.3	0.5	1.01
産業車両	121	▲ 7.4	0.3	産業車両	119	▲ 12.9	0.3	産業車両	97	▲ 15.5	0.2	0.46
鉄道車両	84	▲ 50.0	0.2	鉄道車両	78	▲ 47.0	0.2	鉄道車両	61	▲ 73.0	0.2	0.69
21業種合計	41,400		98.6	21業種合計	41,835		98.7	21業種合計	38,329		98.7	0.86

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～農業機械のみが二桁増加、鉄道車両、携帯電話等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示したのは、米国向け**農業機械**(16.3%増)のみであった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(73.0%減)、携帯電話(42.9%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2019/6			2019/7			2019/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
時計	108	11.9	船舶	1,741	60.5	農業機械	190	16.3
機種合計	108	* 0.26%	金属加工機械	273	15.5	機種合計	190	* 0.49%
			TV	117	13.5			
			航空機部品	758	13.2			
			乗用車	9,675	10.8			
			電池	582	10.2			
			機種合計	13,146	* 31.0%			

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2019/6			2019/7			2019/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	84	▲ 50.0	鉄道車両	78	▲ 47.0	鉄道車両	61	▲ 73.0
デジカメ・ビデオ	223	▲ 32.8	携帯電話	13	▲ 33.6	携帯電話	16	▲ 42.9
写真機の部分品・附属品	102	▲ 29.5	通信機械部分品	149	▲ 28.8	通信機械部分品	153	▲ 38.0
船舶	1,354	▲ 26.4	写真機の部分品・附属品	84	▲ 24.7	磁気カード・ディスク等	104	▲ 27.4
工作機械	698	▲ 25.5	磁気カード・ディスク等	101	▲ 21.1	半導体製造装置	1,917	▲ 24.5
磁気カード・ディスク等	107	▲ 20.7	原動力機械	323	▲ 20.6	原動力機械	380	▲ 19.8
原動力機械	357	▲ 20.6	電子計算機	365	▲ 19.8	写真機の部分品・附属品	91	▲ 18.7
産業用ロボット	150	▲ 19.0	工作機械	698	▲ 18.1	その他の配電制御装置	867	▲ 17.1
金属加工機械	256	▲ 17.3	半導体製造装置	1,907	▲ 13.5	発電機	63	▲ 16.3
貨物自動車	716	▲ 16.4	産業車両	119	▲ 12.9	工作機械	663	▲ 15.8
機種合計	4,047	* 9.6%	機種合計	3,837	* 9.1%	機種合計	4,315	* 11.1%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～乗用車、医療機械等が二桁増加、電子デバイス、航空機・部品等が減少～

- 1) 8月の機械輸入伸び率は8.3%減と再び減少した。上位12機種のうち3機種が増加し、そのうち乗用車(25.4%増)、医療機械(18.3%増)の2機種が二桁の増加であった。減少したのは、電子デバイス(12.7%減)、航空機・部品等(26.4%減)、自動車部品(13.9%減)をはじめ9機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、医療機械、携帯電話、白物家電、受信変換その他送受信機器、配電機器、TV、時計、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の36%を占める中国(9.0%減)、ASEAN・南アジア(7.2%減)、EU(5.7%減)、北米(15.2%減)、韓国・台湾(8.8%減)、その他地域(10.3%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2019/6			2019/7			2019/8					
機種名	金額	伸び率	シエア	機種名	金額	伸び率	シエア	機種名	金額	伸び率	シエア
電子デバイス	2,141	▲ 4.7	11.1	電子デバイス	2,081	▲ 16.3	9.5	電子デバイス	1,983	▲ 12.7	10.3
電子計算機	1,748	▲ 12.0	9.1	電子計算機	2,022	▲ 13.0	9.2	電子計算機	1,869	▲ 2.7	9.7
航空機・部品等	1,324	▲ 6.8	6.9	航空機・部品等	1,448	▲ 10.0	6.6	乗用車	1,463	▲ 25.4	7.6
自動車部品	1,043	▲ 14.4	5.4	自動車部品	1,213	▲ 4.8	5.5	航空機・部品等	1,280	▲ 26.4	6.6
乗用車	910	▲ 15.5	4.7	携帯電話	1,063	▲ 7.0	4.9	自動車部品	990	▲ 13.9	5.1
携帯電話	884	▲ 11.1	4.6	乗用車	967	▲ 7.1	4.4	医療機械	763	▲ 18.3	4.0
白物家電	876	▲ 2.0	4.5	白物家電	885	▲ 3.9	4.0	携帯電話	704	▲ 31.6	3.7
医療機械	668	▲ 8.5	3.5	医療機械	820	▲ 24.6	3.7	白物家電	634	▲ 13.6	3.3
配電機器	581	▲ 4.1	3.0	受信変換その他送受信	664	▲ 11.6	3.0	受信変換その他送受信	566	▲ 10.7	2.9
受信変換その他送受信	539	▲ 2.2	2.8	配電機器	663	▲ 8.0	3.0	配電機器	556	▲ 7.5	2.9
コンデンサー等部分品	402	▲ 9.4	2.1	コンデンサー等部分品	439	▲ 8.4	2.0	コンデンサー等部分品	400	▲ 1.2	2.1
その他の配電制御装置	386	▲ 1.5	2.0	その他の配電制御装置	428	▲ 2.5	2.0	その他の配電制御装置	364	▲ 8.0	1.9
12機種合計	11,502	▲ 59.6	59.6	12機種合計	12,693	▲ 58.0	58.0	12機種合計	11,572	▲ 60.0	60.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等